

長期戦略:テーマ 「新規事業財源の確保」

提出日

2019年10月18日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	村田企画担当理事 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	法人部(法人課・校友課)、 総合企画部
-----------------------	---------------------	---------------	------------------------

1. 実施計画

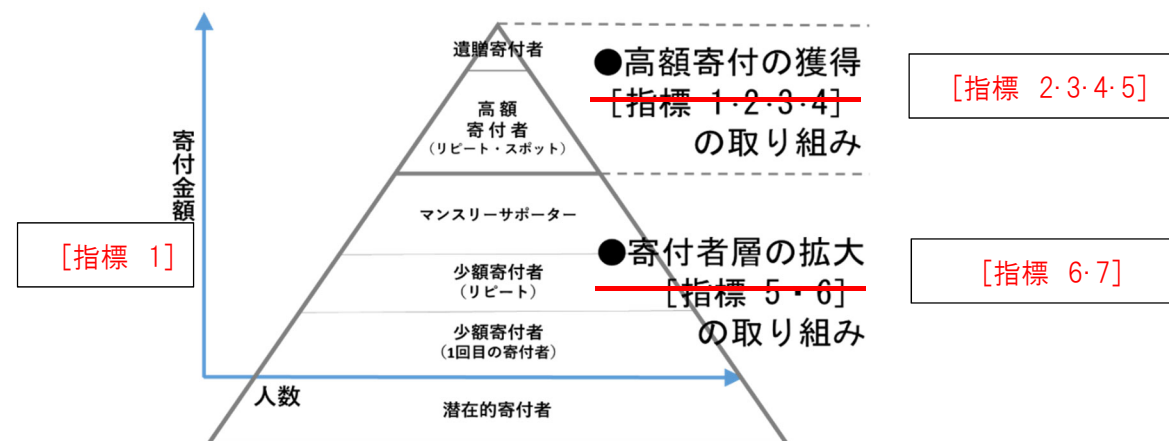
実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(4)-② 寄付募集の体制構築と推進	(2020)年度	(2022)年度	必要なし	不要

内容

財務・業務改革本部での検討の結果、収入増の学費改定以外の方策として、寄付金収入の増加を優先度の高い取組として推進する方向性が示された。寄付募集は、単なる資金集めではなく、学院に関係する多様なステークホルダーズとのコミュニケーションとして捉えるべきである。寄付者像を明確にした上で、中長期的戦略を立案し、本学の教育・研究活動の成果や価値を広く社会に発信し、その取組状況等について如何に共感を得ることができるかが大切であり、そのことは継続的で安定的な寄付者ネットワークの構築にもつながる。

本計画では、すでに募金推進委員会において策定されている寄付募集計画の推進と同計画のPDCAを担う専業での人員配置について検討した上で、寄付募集をさらに推進していくための戦略的体制を構築する。

●ドナーピラミッド(ドナー獲得の概念図)と寄付募集計画推進のイメージ



進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式
指標1	寄付総額	<p>●年度内の寄付総額及び新たな寄付募集による寄付合計額</p> <p>新たな寄付募集(積極的に働きかける募金、広く呼びかける募金、その他の新たな制度[遺贈受入整備、維持会員、古本募金])により寄付総額の増加と、持続的かつ発展的な寄付を獲得するための寄付者層の拡大を図る。</p>
指標2	学外協力者数 (高額寄付の獲得)	<p>●寄付募集事業を推進するための学外協力者数</p> <p>学外協力者とは、高額寄付の獲得を推進するために配置するものを指す。</p> <p>学外協力者については、地域の特殊性を考慮して、各エリア(関西圏、首都圏、東海・北陸、中四国、九州等)に置く。</p>
指標3	プレミアムサポーター数 (高額寄付の獲得)	<p>●<仮称>プレミアムサポーター[継続会員]の会員数</p> <p>毎年50万円以上を寄付して下さる方を<仮称>プレミアムサポーター[継続会員]とした会員制度を構築し、高額寄付者層の囲い込みを図る。</p> <p>プレミアムサポーターの募集は、募金専任担当者が学外協力者と連携して推進する。</p>
指標4	高額寄付者による寄付総額 (高額寄付の獲得)	<p>●高額寄付者(100万円以上/年間の高額寄付者)による寄付総額</p> <p>募金専任担当者と学外協力者が連携し、高額寄付の獲得を推進する。</p>
指標5	遺贈受入 (高額寄付の獲得)	<p>●遺贈受入相談件数、遺贈受入件数、遺贈受入総額</p> <p>募金専任担当者が高額寄付者とのリレーションを強化し、遺贈受入の増加を図る。</p> <p>※遺贈受入相談件数は、主に高額寄付者とのリレーション強化により発生した相談を対象とする。</p>
指標6	Kwansei Grand Challenge 2039 募金への寄付件数・総額 (寄付者層の拡大)	<p>●「Kwansei Grand Challenge 2039 募金」への寄付件数・総額</p> <p>Kwansei Grand Challenge 2039における事業に対し、寄付者が用途を選択できる仕組みの構築と、寄付者銘板を導入し、寄付者層の拡大及び「Kwansei Grand Challenge 2039 募金」への寄付総額の増加を図る。</p>
指標7	維持会員の寄付件数・総額 (寄付者層の拡大)	<p>●<仮称>維持会員の寄付件数・総額</p> <p>少額でも毎年寄付して下さる方を<仮称>維持会員とした会員制度を構築し、寄付者層の拡大及び寄付総額の増加を図る。</p>

目標1<指標1> 寄付総額(年度内の寄付総額・新たな寄付募集による寄付合計額)

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標2<指標2> 学外協力者数 [高額寄付の獲得]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標3<指標3> プレミアムサポーター数 [高額寄付の獲得]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標4<指標4> 高額寄付者による寄付総額 [高額寄付の獲得]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標5<指標5> 遺贈受入(遺贈受入相談件数、遺贈受入件数、遺贈受入総額) [高額寄付の獲得]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標6<指標6> Kwansei Grand Challenge 2039 募金への寄付件数・総額 [寄付者層の拡大]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

目標7<指標7> 維持会員の寄付件数・総額 [寄付者層の拡大]

	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
目標	非公開			
実績				

2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
高額寄付の獲得	策定段階	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析と方策立案 ・募金担当理事の選任 ・実施体制検討と構築 ・学外協力者制度構築と運用開始 ・謝意の検討と運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・募金専任担当者配置による体制強化 ・高額寄付者への訪問活動開始 ・学外協力者増による体制強化 ・プレミアムサポーター会員制度構築と募集開始 ・謝意の検討結果に基づく募金推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・高額寄付者への訪問活動強化 ・学外協力者増による体制強化 ・プレミアムサポーター募集推進 ・謝意の検討結果に基づく募金推進 ・実施体制の再検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・募金専任担当者増による体制強化 ・高額寄付者への訪問活動 ・遺贈受付体制の整備 ・高額寄付者への遺贈提案開始 ・学外協力者増による体制強化 ・プレミアムサポーター募集推進 ・謝意の検討結果に基づく募金推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度以降の募金推進計画策定 ・高額寄付者への訪問活動 ・高額寄付者への遺贈提案 ・遺贈相談業務開始 ・学外協力者増による体制強化 ・プレミアムサポーター募集推進 ・謝意の検討結果に基づく募金推進
	2020年3月末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定	・2023年度の検討結果を踏まえて策定
	2020年3月末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
寄付者層の拡大	策定段階	<ul style="list-style-type: none"> ・KGC2039募金推進開始(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内) ・寄付方法の拡充(クレジットカード決済) ・謝意の検討と運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析によるKGC2039募金新メニュー検討 ・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内、DM送付) ・維持会員制度構築及び募集開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・KGC2039募金新メニュー開始 ・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内) ・維持会員の募集推進 ・維持会員募集体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内) ・維持会員の募集推進 ・謝意の検討結果に基づく募金推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度以降の募金推進計画策定 ・KGC2039募金推進(母校通信同封・HP・同窓会支部総会・ホームカミングデー招待者への案内) ・維持会員の募集推進 ・謝意の検討結果に基づく

			・謝意の再検討と運用開始 ・謝意の検討結果に基づく 募金開始	と新体制による募集開始 ・謝意の検討結果に基づく 募金推進		募金推進
	2020年3月 末段階					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	・2023年度の検討結果 を踏まえて策定	・2023年度の検討結果 を踏まえて策定	・2023年度の検討結果 を踏まえて策定	・2023年度の検討結果 を踏まえて策定	・2023年度の検討結果 を踏まえて策定
	2020年3月 末段階					

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】				
非公開				
経費 単位:万円	(2019・2020)年度 承認	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
非公開				
人員・人件費 単位:万円	(2019・2020)年度 承認	(2021)年度	(2022)年度	4年目以降
非公開				

4. 進捗状況・得られた成果

2019 年度	
() 年度	
() 年度	

5. 今後の課題及び方向性

(2019) 年度	本実施計画では、寄付募集総額を増加させるための高額寄付の獲得と、持続的かつ発展的な寄付獲得を実現するための寄付者層の拡大に重点を置いて取り組むこととしているため、募金担当理事の選任(配置)、計画のPDCAを担う募金専任担当者や業務を委託する学外協力者の配置が不可欠である。また、高額寄付の獲得には、本学を支援したいという参画意識を醸成することが必要で、寄付に至るまでの時間と労力を費やすこととなるため、高額寄付の獲得に係る活動の進捗に併せて、段階的に人員体制と費用面での措置が必要となる。
(2020) 年度	
(2021) 年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	・学外協力者 2 名の報酬料金・関連経費、交通費(募金専任担当理事・担当者)、謝意に関わる費用を認めます。 ・また、寄付募集体制を確固たるものとするために、事務職員 1 名を配置する方向とし、人事部にて対応します。
() 年度	
() 年度	